



ボラパソ通信

34号
 発行: 高槻ボラパソ
 090-3659-1734

年頭ご挨拶

理事長 伊東孝雄



借りで物で何とかやり繰りする
 ような状態でした。更にパソ
 コンの経験者も少なく、すべ
 てが手さぐりの状態でスター
 ト致しました。

新年あけまし
 ておめでとうご
 ざいます。毎年
 パソコン講座に
 ご協力いただき
 まして有難うご
 ざいます。
 さて、「高槻
 ボラパソ」は、
 2012年5月
 を以て、創立10
 周年を迎えること
 になります。

顧みまされ
 ば、10年前には、
 講座を実施する
 会場もなく、パ
 ソコンもなく、

このスタートの時点から現
 在に至るまで富田ふれあいセ
 ンターの強力な支援を頂き協
 働事業として、10年の事業を
 継続することが出来ました。
 今やパソコンは20台を擁
 し、講座を担当する講師は50
 名賛助会員は260名に達す
 る規模に成長しました。

ボラパソ10年の歩み

2012年5月に創立10周
 年を迎えます。ここで簡単に
 主要な出来事を年表にまとめ
 て振り返ってみたいと思いま
 す。

高槻ボラパソは高齢者の高
 槻市民を対象に情報格差（デ
 ジタルデバイド）解消を目的
 に、富田ふれあい文化セン
 ターの行政との協働事業の形
 態でボランティア活動を開始
 しました。

インターネットが常識に
 なった現代において、パソコ

にNPO法人格を取得し、広
 く市民のデジタルデバイス
 (情報格差) 解消事業に一層
 強く邁進して参りました。
 10年前と比べると、市民の
 情報取得の意識・環境は相当
 大きく改善されてきました
 が、まだまだその機会に恵ま
 れずにおられる方々が多数お
 られる事とを認識しておりま
 す。



年賀状講座作品

本年もよろしくご支援の
 程、お願いいたします。

設立当時は富
 田青少年セン
 ターや今城塚公
 民館のパソコン
 を使用させて頂
 きました。

理事 大沼 紀幸

オンを触ったことがない人を対
 象に、パソコンは便利だ、楽
 しいということを経験してい
 ただき、ちよつと努力すれば
 「パソコンを使えるぞ！」と
 いうやる気になっていただく
 ことを目指しています。

この10年間で、多くの高槻
 市民に受講して頂き、着実な
 成果を残してきたものと思っ
 ています。受講した多くの人
 が賛助会員となり、高槻ボラ
 パソを支援して頂いているこ
 とに感謝致しております。

設備面ではI
 BM、マイクロ
 ソフト、大阪ガ
 スの各社から寄
 贈品の支援を頂
 いています。
 正会員教育で
 は、富田ふれあ
 い文化センター
 の本田副主幹、
 外部講師の三辻
 先生、赤塚先生
 に指導を受け、
 実に多くの方々
 にご支援を頂い
 て10周年を迎え
 られることに深
 く感謝致しま
 す。

年月	出来事	協働事業	OS
2002年5月	任意団体高槻ボラパソ設立総会	1講座3コース	98
2004年4月	活動拠点を富田ふれあい文化センターに設置して、設備を新設。	1講座9コース	XP
2004年9月	NPO法人登記		
2005年4月	1講座追加	2講座10コース	
2006年4月	1講座追加	3講座6コース	
2009年4月	設備更新と新OS追加。自主・依頼講座増加	3講座3コース	XP+Vista
2011年4月	中高年IT講座→デジタルデバイス解消講座に改組	3講座3コース(希望講座選択)	
2012年4月	OSにWindows7を採用予定		XP+Win7

ボラパソさんとの なが〜い お付き合い



ボラパソさんとのお付き合いは2003年1月ごろ

からです。多趣味な私はパソコンに興味を覚え、三箇牧地域でパソコン講座を開いてくれるようにボラパソさんに何度も連絡を取りました。中々「ウン」と言ってくれず、困りました。

やっと「OK」が出たのですが、今度はパソコンが有りません。ボラパソの立石さん達を中心になって、方々の公施設から、一台一台苦労して借りて下さって、やっと講座を開催する事が出来たのを覚えていきます。

当時のテキストは市販のものやボラパソさんの作成したのを交えて「デジカメ」「名刺作成」「年賀状」等でした。ボラパソの先生方も、当時は先生方も我々生徒も互いに手探りの状態でした。しかし、毎回今度ほどの様なことを学ぶのかと、胸をワクワクさせて待っていたものでした。まるで初恋の様な心

（うの花の会） 北村正枝

境でしたね。

ボラパソの先生方は、一つのテキストを作るにも、何度も何度も模擬講座をして、検討に次ぐ検討で涙ぐましい努力を重ねられていた様です。今では考えられない様な話ですが、みな初めての事なので懸命だったのですね。

印象的な講座は、2004年5月ごろの「動くメール」でイラスト+音楽+メール」でした。こんな動くものがメールに乗るのかと、驚きと不思議な感動で強く印象に

受講生 インタビュー

親子で受講された娘さんとお母さんのお話です

平岡朱美香・娘さん



〇どの様な事を学びたいのですか。
主人が商売をしているのでパソコンの基礎を一通り学んで、仕事に役立つ文書を作りたい。早く主人を楽にさせたいと思っています。

〇パソコンは難しいですか
先生方は丁寧な何度でも親切に教えてくれるので、難し

残っています。当時私たちは動くメールの講師を「メールの女王」とお呼びしていました。華やかで楽しい講座でした。

パソコンは、現在の私にとって正に生活の一部であって、体の一部です。いろんなグループ活動の役をしているので、その連絡などでパソコンは生活必需品です。

10年間もの長いお付き合いが出来たのは、ボラパソさんとの意思疎通が非常に良く、講座が上手く運営されてきたからです。いつも勝手な要望を出しますが担当の方の懸命な活躍で円滑な運営がなされています。本当に感謝しています。

吉田昌美・お母さん



〇ボラパソ講座をどこで知りましたか。
娘の紹介です。

〇どの様な事を学びたいのですか
インターネットで旅行先を探し、世界を旅したいです。

〇パソコンは難しいですか
初めは戸惑っていましたが、面白い先生に遭遇してから、気が楽になりました。又毎月2回土曜日に無料相談会があるのと知って、これは正に「パソコンの完全介護」がついていると有難く思っています。

〇講座は楽しいですか
一日一人家にいるより、パソコンで外界と接触する楽しさが出てきました。誘ってくれた、孝行娘に感謝です。

初級者のパソコンの
悩みをお聞きします
お気軽に
お越しください

デジタルデバイス(情報格差) 解消個別相談会

毎月第一・第三土曜日
午前10時から12時

富田ふれあい文化センター
住所：高槻市富田町4丁目
電話：072-694-5128

費用：無料
—5451

